

ジュニア賞

方言翻訳・練習・収集ゲーム

川田 悠平 (中学1年生：広島県)

最近、外国語を翻訳するアプリが数多くインターネットにあがっている。しかし、外国語も大切だが、日本国内には、数多くの方言がある。昔から各地方で使われている方言を翻訳するアプリを、ぼくは、見たことがない。そこで、僕が考えたゲームは、方言翻訳・練習・収集ゲームです。このゲームではスマートフォンのマイクで周りの人が喋っている方言を瞬時に判断し、自分が普段使っている地方の方言に変換する瞬間翻訳できるだけでなく、ゲームをしながら練習できるものです。また、このアプリで翻訳できない方言を集めることもできるようになっています。このゲームでは、ゲームの中に人物が出てきて自分の設定した方言で話しかけてきます。そして自分の決めた方言やそれ以外の方言合わせて3択選べて正しい受け答えをするゲームです。正しい受け答えが20回でき、そのステージをクリアすると、その方言の覧に1ポイント加算されます。そのポイントが10ポイントたまると1ランクずつ上がります。ランクは一番下がCから、C、B、A、SとなっていてSになったころには、その方言かすぐに話せるようになっていると思います。そしてホーム画面には、自分はどの方言がどのランクかが、一目でわかるようにしています。また、収集モードでは、翻訳できない方言を集めると方言博士ポイントが1ポイント加算されます。そのポイントが10ポイントたまると1ランク上がります。さらに、収集した場所をスマートフォンのGPS機能で同時登録できます。このゲームができると、地域でコミュニケーションが増えたり、色々な地方の方言を知ることができたりする画期的なゲームになると思います。特に、少子高齢化が進む地方では、若い人が少なく、方言を理解できたり、使えたりする人が減っているため、このアプリが昔から大切にされてきた方言を守ることできると思います。